

京都府胃がん内視鏡検診管外受診制度の 整備について

令和 5 年度京都府生活習慣病検診等管理指導協議会がん検診部会資料

令和 6 年 3 月 11 日（月） 1 5 時～ 1 7 時
京都府健康福祉部健康対策課がん対策係



対策型胃がん検診の位置づけ

○「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」

(平成20年3月31日付け健発第0331058号厚生労働省健康局通知別添。

平成28年2月4日付けで一部改正) ※令和5年6月23日一部改正が最新

○胃がん検診の検査項目

問診に加え、胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査のいずれか

○対象者

50歳以上

(※当分の間、胃部エックス線検査については
40歳以上の者を対象としても差し支えない。)

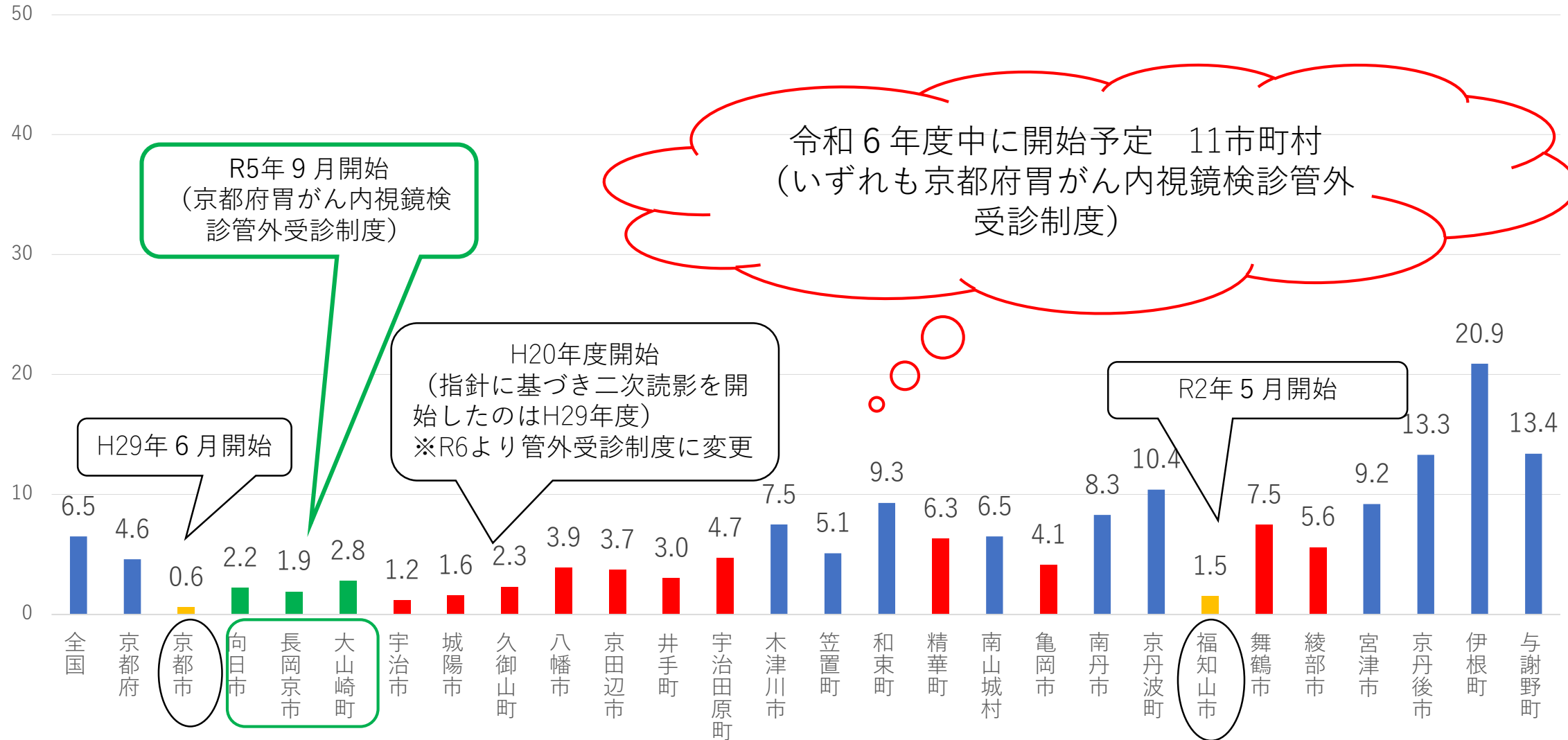
○受診間隔

2年に1回

(※当分の間、胃部エックス線検査については年1回実施しても差し支えない。)



京都府内市町村別胃がん検診受診率 (R3実績)



※50~69歳、2年に1回、胃部エックス線及び内視鏡検査の合計

R5乙訓地域における実施状況

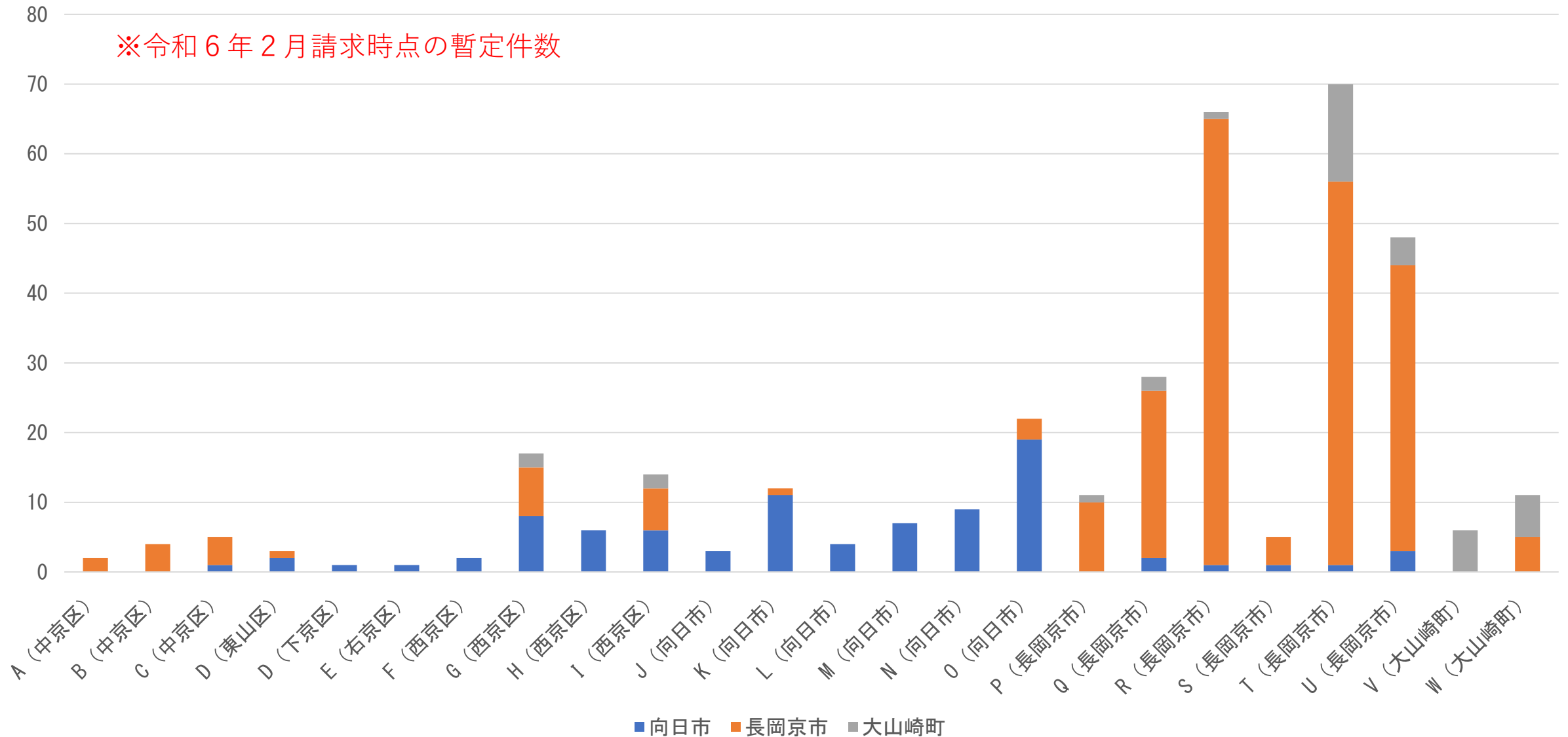
市町村名	対象年齢	受診間隔	実施期間	自己負担額	バリウム検査・その他
向日市 (乙訓医師会)	50歳以上	2年に1回	令和5年9月 ～令和6年1月	2,000円 (70歳以上無料)	50歳以上、2年に1回 ※胃がんリスク検診実施
長岡京市 (乙訓医師会)	50歳以上	2年に1回	令和5年9月 ～令和6年1月	2,000円 (70歳以上無料)	50歳以上、2年に1回 ※胃がんリスク検診実施
大山崎町 (乙訓医師会)	50歳以上	2年に1回	令和5年9月 ～令和6年1月	2,000円 (70歳以上無料)	50歳以上、2年に1回 ※胃がんリスク検診実施

※参考※

- 7月中旬～下旬 実施医療機関一覧の作成完了
- 8月1日～ 実施医療機関の公表（市町村のホームページ、広報誌）、受診券の申込開始（WEB、窓口等）
- 8月中旬 実施医療機関宛て、京都府・京都市胃がん内視鏡検診の手引き、各種帳票類を送付
- 8月下旬 本人宛て受診券の送付、医療機関への予約開始（※受診券が届いてから予約をするよう申込時に周知）
- 9月1日 胃がん内視鏡検診開始
- 1月31日 胃がん内視鏡検診終了 ※内視鏡検査分請求最終締め切り 3月10日

R5乙訓地域における実施医療機関別受診者数

※令和6年2月請求時点の暫定件数



R5乙訓地域における市町村別基本データ

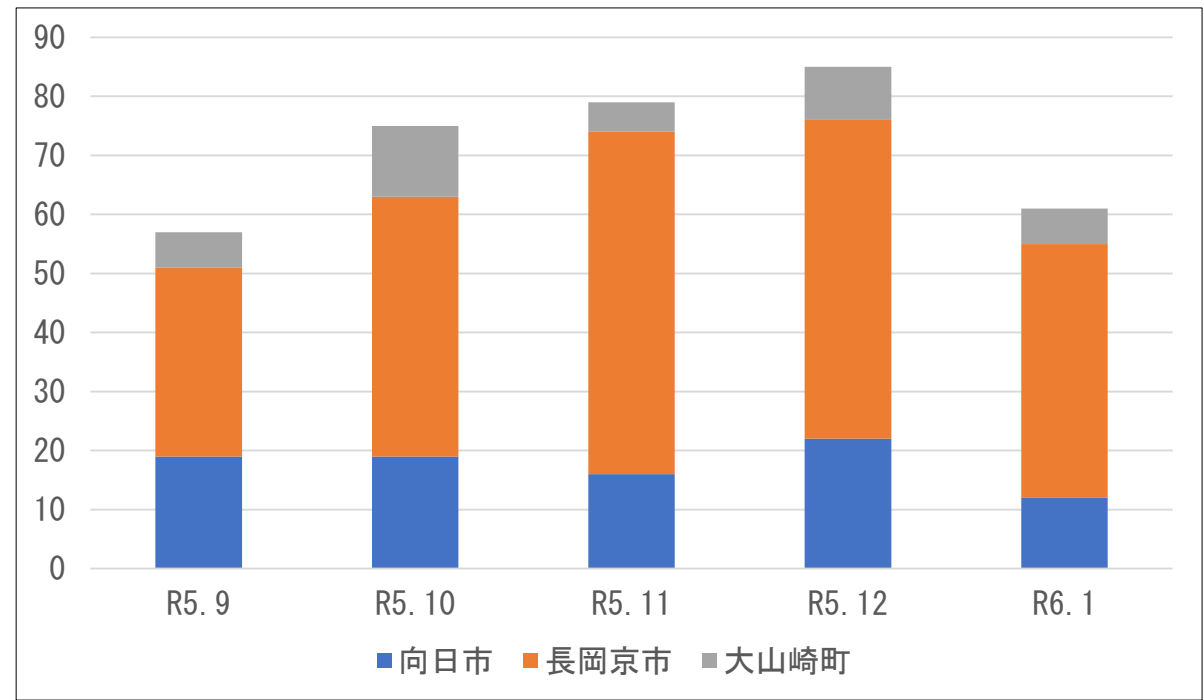
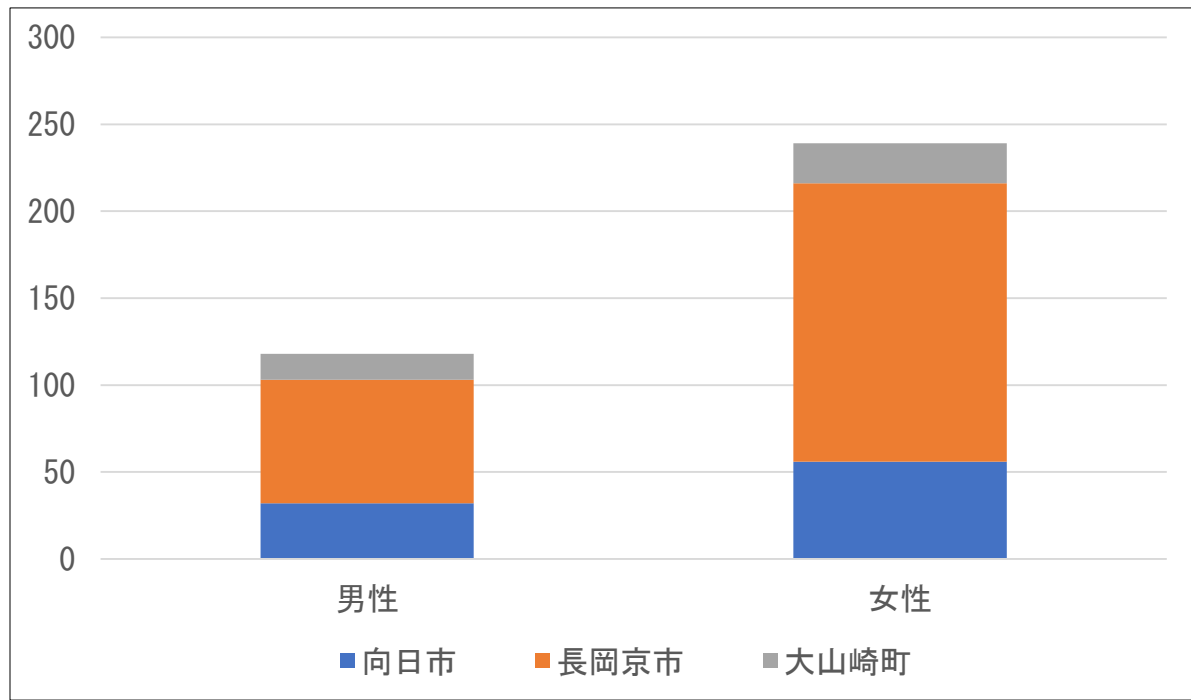
※令和6年2月請求時点の暫定件数

【性別受診者数】

	男性	女性	総計
向日市	32	56	88
長岡京市	71	160	231
大山崎町	15	23	38
総計	118	239	357

【月別受診者数】

	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	総計
向日市	19	19	16	22	12	88
長岡京市	32	44	58	54	43	231
大山崎町	6	12	5	9	6	38
総計	57	75	79	85	61	357

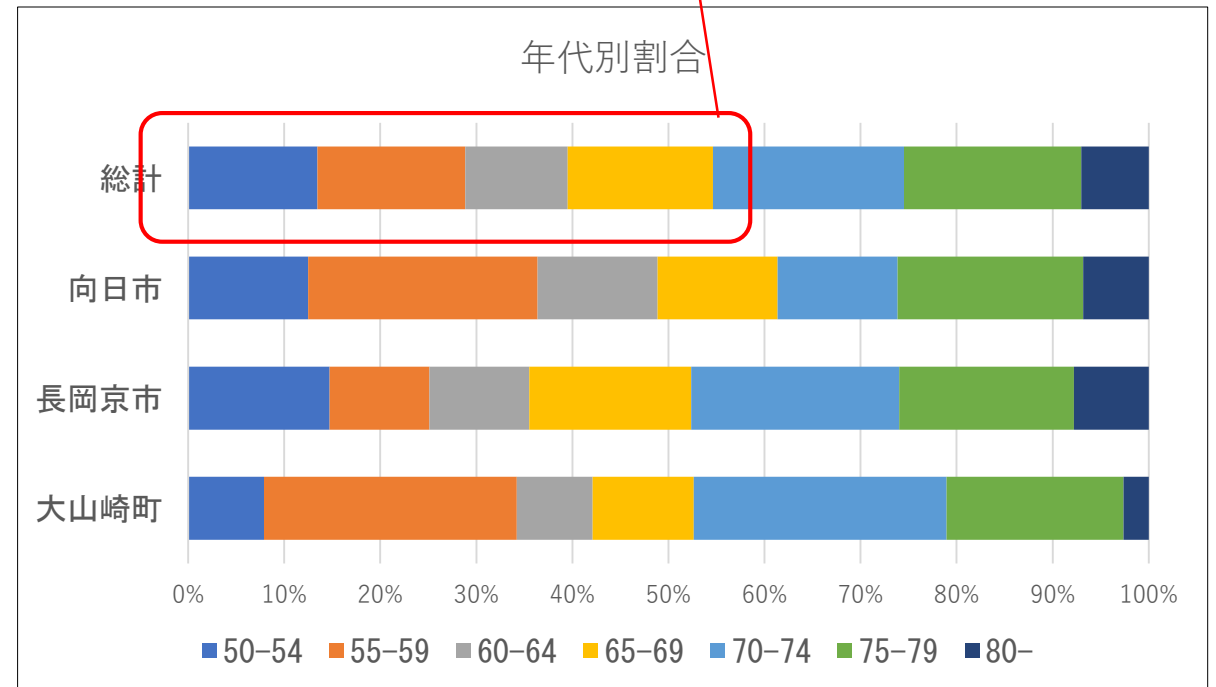
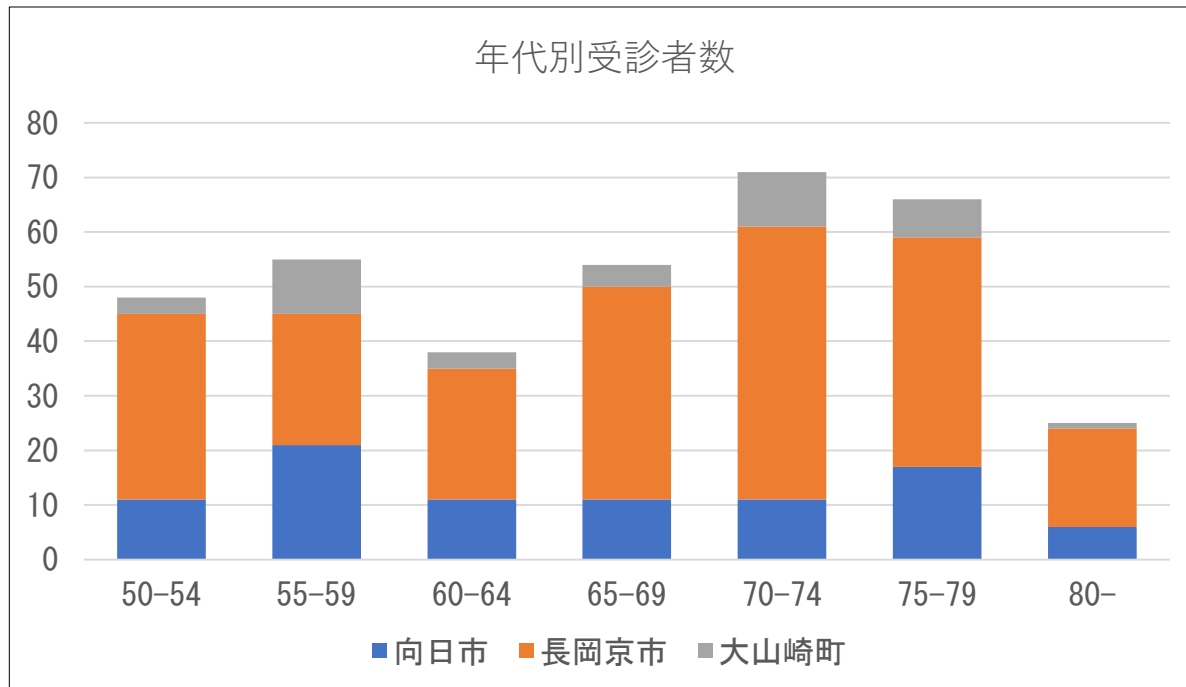


年代別受診者の状況

※令和6年2月請求時点の暫定件数

	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-	総計
向日市	11	21	11	11	11	17	6	88
長岡京市	34	24	24	39	50	42	18	231
大山崎町	3	10	3	4	10	7	1	38
総計	48	55	38	54	71	66	25	357

69歳以下 54.6%



判定結果と本人への結果通知について

※令和6年2月請求時点の暫定件数

	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-	総計
生検（バイオプシー）なし	46	52	36	51	69	60	22	336
胃がんなし	46	52	36	51	68	59	22	334
胃がんあり（要精検）								
胃がん疑い（要精検）								
要再検査（要精検）						1		1
胃がん以外の悪性病変					1			1
生検（バイオプシー）あり	2	3	2	3	2	6	3	21
胃がんなし	2	3	2	1	2	4	2	16
胃がんあり（要精検）						1	1	2
胃がん疑い（要精検）						1		1
要再検査（要精検）				1				1
胃がん以外の悪性病変				1				1
総計	48	55	38	54	71	66	25	357

<本人への結果通知>

要精検 5名（赤枠セル）
精検不要 352名

※生検実施の結果によって判断する。
※「胃がん以外の悪性病変」は、「胃がん検診」としては精検不要だが、必要な治療につないでいただく。

<地域保健健康増進事業報告>

要精検 22名（黄色セル）
精検不要 335名

※「生検あり」はその後の結果に関わらず、要精検
※「生検なし」のうち、「胃がんあり」「胃がん疑い」「要再検査」は、要精検

R6年度胃がん内視鏡検診実施予定 ※令和6年2月末時点の予定※

市町村名 (医師会名)	対象年齢	受診間隔	実施期間	自己負担額	バリウム検査・その他
指針	50歳以上	2年に1回	-	-	40歳以上の者に対し年1回実施しても差し支えない
宇治市 (宇治久世医師会)	50歳以上	2年に1回	8～12月	3,000円 (75歳以上無料)	40歳以上、2年に1回 ※R6より胃がんリスク検診開始予定
城陽市 (宇治久世医師会)	50歳以上	2年に1回	8～12月	3,000円 (70歳以上無料)	40歳以上、2年に1回
久御山町 (宇治久世医師会)	50歳以上	2年に1回	8～12月	2,500円 (70歳以上無料)	R6より廃止
八幡市 (綴喜医師会)	50歳以上	2年に1回	7～翌1月	3,000円 (年齢による免除なし)	40歳以上、2年に1回
京田辺市 (綴喜医師会)	50歳以上	2年に1回	7～翌1月	3,000円 (70歳以上無料)	40歳以上、2年に1回

R6年度胃がん内視鏡検診実施予定

※令和6年2月末時点の予定※

市町村名 (医師会名)	対象年齢	受診間隔	実施期間	自己負担額	バリウム検査・その他
井手町 (綴喜医師会)	50歳以上	2年に1回	検討中	検討中	40歳以上、1年に1回
宇治田原町 (綴喜医師会)	50歳以上	2年に1回	9～翌1月	3,000円 (70歳以上無料)	40歳以上、1年に1回
精華町 (相楽医師会)	50歳以上	2年に1回	7～12月	3,000円 (70歳以上無料)	50歳以上、2年に1回 ※R6は移行期間にて40歳代全員を 対象とする。
亀岡市 (亀岡市医師会)	50歳以上	2年に1回	7～12月	3,000円 (70歳以上2,000円)	40歳以上、2年に1回
舞鶴市 (舞鶴医師会)	50歳以上	2年に1回	7～翌1月	4,000円 (70歳以上2,000円)	50歳以上、2年に1回
綾部市 (綾部医師会)	50歳以上	2年に1回	6～翌1月	3,000円 (70歳以上1,500円)	50歳以上、2年に1回

R6年度胃がん内視鏡検診実施予定

※令和6年2月末時点の予定※

市町村名 (医師会名)	対象年齢	受診間隔	実施期間	自己負担額	バリウム検査・その他
京都市 (京都府医師会) ※市町村単独実施	50歳以上	2年に1回	通年	3,000円 (70歳以上無料)	50歳以上、2年に1回 ※胃がんリスク層別化検診実施
向日市 (乙訓医師会)	50歳以上	2年に1回	6～翌1月	2,000円 (70歳以上無料)	50歳以上、2年に1回 ※胃がんリスク検診実施
長岡京市 (乙訓医師会)	50歳以上	2年に1回	6～翌1月	2,000円 (70歳以上無料)	50歳以上、2年に1回 ※胃がんリスク検診実施
大山崎町 (乙訓医師会)	50歳以上	2年に1回	6～翌1月	2,000円 (70歳以上無料)	50歳以上、2年に1回 ※胃がんリスク検診実施
福知山市 (福知山医師会) ※市町村単独実施	50歳以上	2年に1回	5～12月	3,000円 (70歳以上1,500円)	50歳以上、2年に1回 ※胃ABC検診実施

令和6年度京都府胃がん内視鏡検診管外受診制度概要

●実施主体と契約方法

実施主体は市町村とし、一般社団法人京都府医師会（以下「京都府医師会」という。）と委託契約を締結する。

●費用 ※診療報酬改定により変更を予定しています

検診1件につき、21,105円（うち、事務関連費用3,550円は京都府医師会あてに支払）

（医療関連費用の内訳）一般二次読影方式（検診費用16,555円・二次読影費用1,000円）・施設内二次読影方式（検診費用17,555円）

●検診対象者

50歳以上で、胃がん内視鏡検診管外受診制度を実施する市町村に住民票のある府民

●実施医療機関及び二次読影医の募集・認定

京都府医師会が募集・認定を行う。

●検診体制

（1）実施方法

日本消化器がん検診学会による「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル2017年度版」及び「**京都府・京都市胃がん内視鏡検診の手引き**」に準拠

（2）二重読影体制

認定実施医療機関に属さない認定二次読影医が二次読影を行う「一般二次読影方式」と、認定実施医療機関内で二次読影を行う「施設内二次読影方式」で実施。一般二次読影方式では、クラウドシステム（富士フィルムASSISTA）を利用。

（3）精度管理

京都府医師会が、市町村とともに京都府医師会消化器がん検診委員会等において実施。

（4）研修会の開催

本制度に従事する医師等検診従事者を対象とした研修会を、年1回開催。



※資料4 参照

令和6年度京都府胃がん内視鏡検診の大まかな流れ

◆申込み・対象者の確認

受診希望者が、**住民票のある市町村**に申し込む。その際、問診票にある5項目については、本人の「自己申告」により確認の上、いずれか1つに該当する場合は、検診対象外である旨、受診希望者に指導を行う。

対象者の確認後、受診希望者に「**京都府〇〇〇市（町・村）胃がん内視鏡検診受診券**」を発行し、「**京都府胃がん内視鏡検診実施医療機関一覧**（以下「**実施医療機関一覧**」という。）」及び「**受診の御案内**」を配付する。

◆検診予約

受診対象者は、「**実施医療機関一覧**」を確認し、希望する実施医療機関に原則電話で予約を行う。

◆事前説明～結果返却

実施医療機関において、**事前説明から結果返却**を行う。（「**受診票・同意書**」「**説明書**」等、帳票類は**実施医療機関に据え置き**。帳票類は、必要時、**京都府医師会**にFAX等で依頼。事前説明～結果返却の流れは、各実施医療機関の裁量による。）

◆検診費用の請求・支払い

実施医療機関は、検診費用（一般二次読影・施設内二次読影とも）について前月実施分を取りまとめ、毎月10日までに**市町村毎に請求**する。市町村は、請求書を受理後概ね30日以内に検診費用を支払う。

二次読影費用は、年1回（年度末）、京都府医師会から二次読影医個人に支払われる。（市町村→京都府医師会への支払いも年1回）

◆問合せ窓口

受診者が持参した受診券を発行した市町村（受診者の住民票のある市町村）

※資料5参照



令和6年度京都府胃がん内視鏡検診管外受診制度事業評価

- 1 京都府医師会消化器がん検診委員会（京都府医師会主催）
 - ・概ね2箇月に1回（R6初回は4月の予定）
 - ・実施状況報告、課題検討、ASSISTAデータの症例検討
- 2 がん検診従事者研修会（京都府主催、京都府医師会委託）
 - ・年1回（秋頃を予定）、1回当たり3時間、医師及び検診従事者を対象
 - ・胃がん内視鏡検診の適切な体制構築、オール京都の精度管理を目的として実施
 - ・講演、実績報告の他、実際の検診症例を使用した症例検討会を含む
- 3 京都府生活習慣病検診等管理指導協議会がん検診部会
 - ・年1回（例年年度末に開催）
 - ・地域保健健康増進事業報告データによるプロセス指標評価・検討を行う



★京都府医師会消化器がん検診委員会主催で、二次読影医懇談会を実施いただき、撮影方法・読影方法・判定等について、専門的な見地から、意見交換・協議をいただいています。

令和6年度京都府胃がん内視鏡検診管外受診制度変更点

項目	実施主体	変更等
対象者	—	変更なし ※今後、変更に向けて検討予定
手引き・帳票の内容	—	一部変更 ※詳細は、報告・議題で説明
受診券発行	市町村	変更なし（受診券・受診案内は年次更新）
予約・事前説明	実施医療機関	変更なし
内視鏡検査の実施	実施医療機関・二次読影医	変更なし ※今後、変更に向けて検討予定
結果通知	実施医療機関	変更なし
請求スキーム	市町村・実施医療機関・京都府医師会	変更なし
委託料	—	診療報酬改定内容により変更予定
事業評価・精度管理	市町村・京都府医師会	変更なしですが、内容はより充実します